

印刷材・産業工材関連

売上高 **981億41百万円** (15.0%増)

営業利益 **13億12百万円** (—)



当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

印刷・情報材事業部門 売上高 **747億73百万円** (15.5%増)

主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム



シール・ラベル用粘着製品は、国内では化粧品や飲料キャンペーン用などの需要が低調だったものの、食品や通販関連の需要が増加したことにより、粘着紙・粘着フィルムともに堅調に推移しました。海外では米国や中国、アセアン地域において好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。

産業工材事業部門 売上高 **233億68百万円** (13.6%増)

主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 屋外看板・広告用フィルム
- 内装用化粧フィルム



国内外ともに自動車用粘着製品やウィンドーフィルム、装飾用フィルムなどの需要が大きく回復したほか、通販向け装置についても好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。

※ 2022年3月期の期首よりマックタック・アメリカ社の産業工材事業部門に関わる全ての製品を印刷・情報材事業部門へ移管しました。

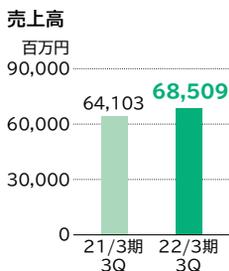
※ セグメント別の営業利益および営業利益構成比は、セグメント間取引消去前の数値に基づいています。

※ ()内は前年同期比

電子・光学関連

売上高 **685億 9百万円** (6.9%増)

営業利益 **152億 91百万円** (39.8%増)



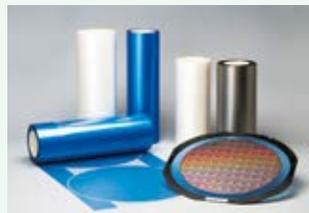
当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

アドバンスマテリアルズ事業部門 売上高 **505億20百万円** (27.2%増)

主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ
- 半導体関連装置

半導体関連粘着テープや関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープは、5G対応のスマートフォンやカーエレクトロニクス用、テレワーク拡大に伴うパソコン用などの需要増加により好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



オプティカル材事業部門 売上高 **179億89百万円** (26.2%減)

主要製品

- 偏光フィルム／粘着加工
- タッチパネル関連製品

光学ディスプレイ関連粘着製品は、大型テレビやパソコン、スマートフォン用などの需要が増加したことにより堅調に推移しました。なお、収益認識に関する会計基準適用の影響を受け、当事業部門の売上高は前年同期に比べ大幅に減少しました。



※ 2022年3月期の期首より洋紙・加工材関連の一部製品を電子・光学関連へ移管しました。2021年3月期第3四半期の実績は組み替えて記載しています。

洋紙・加工材関連

売上高 **245億94**百万円 (10.1%増)

営業利益 **11億20**百万円 (9.3%減)



当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

洋紙事業部門 売上高 **112億72**百万円 (7.9%増)

主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 建材用紙

主力のカラー封筒用紙が堅調に推移したほか、クリーンルームなどで使用される工業用特殊紙やファストフード向け耐油耐水紙の需要が回復しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



加工材事業部門 売上高 **133億21**百万円 (12.0%増)

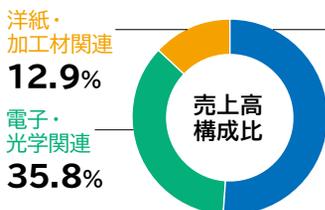
主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙

合成皮革用工程紙は車両用の需要が大幅に回復しました。また、スポーツ・レジャー用の炭素繊維複合材料用工程紙や光学関連製品用剥離フィルムも順調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



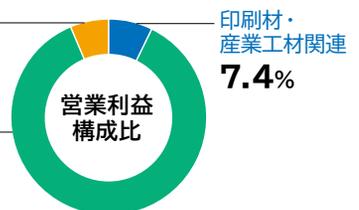
※ 2022年3月期の期首より洋紙・加工材関連の一部製品を電子・光学関連へ移管しました。2021年3月期第3四半期の実績は組み替えて記載しています。



印刷材・産業工材関連 **51.3%**

洋紙・加工材関連 **6.3%**

電子・光学関連 **86.3%**



株式情報 (2021年12月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 (ただし自己株式を除く)	71,042,700株
単元株式数	100株
株主数	6,358人

自己株式の取得状況について

当社は株主還元の充実と資本効率の向上を目的に、昨年11月9日から今年の8月末までに400万株、または120億円を上限とする自己株式を取得します。2022年2月末時点の取得状況は以下のとおりです。

(1) 取得した株式の総数	2,499,000株
(2) 取得価額の総額	6,538,036,500円

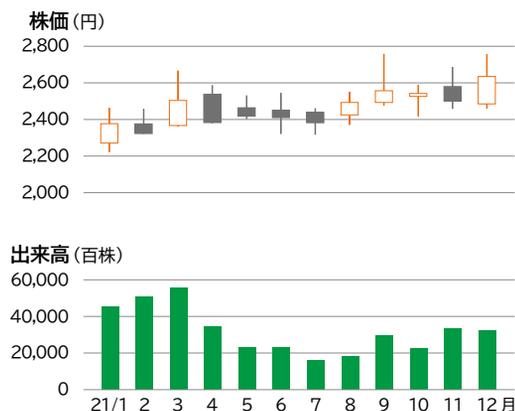
大株主の状況 (上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	21,617	30.42
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,169	10.09
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,469	4.88
全国共済農業協同組合連合会	2,610	3.67
庄司 たみ江	1,796	2.52
株式会社かんぼ生命保険	1,715	2.41
リンテック従業員持株会	1,125	1.58
塩飽 恵以子	1,043	1.46
塩飽 一誉子	803	1.13
庄司 早木子	797	1.12
庄司 光江	797	1.12

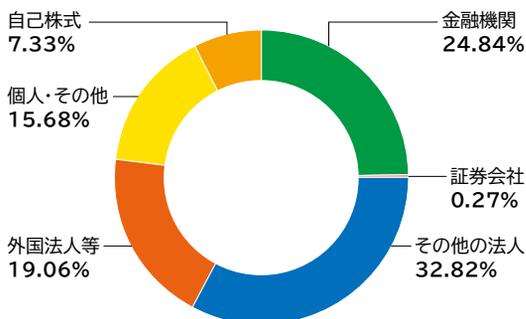
注1. 当社は自己株式5,616,740株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

株価および出来高の推移 (2021年1月~12月)



所有者別分布比率



会社概要 (2021年12月31日現在)

社名	リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)
本社	東京都板橋区本町23-23
設立	1934年10月15日
資本金	233億2,095万411円
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結: 4,913人 単体: 2,618人 (2021年3月31日現在)
事業所	営業拠点: 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点: 吾妻(群馬県)、熊谷・伊奈(埼玉県)、千葉(千葉県)、 龍野・新宮(兵庫県)、小松島(徳島県)、三島・土居・新居浜(愛媛県) 研究拠点: 蕨・さいたま(埼玉県) 海外事務所: ハノイ(ベトナム)
連結子会社	国内: 3社 海外: 39社

株主メモ

定時株主総会	6月
配当基準日	期末: 3月31日 中間: 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・郵便物送付先	
・フリーダイヤル	☎ 0120-232-711
・ホームページアドレス	www.tr.mufg.jp/daikou

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に
口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座
管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

法定公告掲載ホームページアドレス
www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html



● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23
URL www.lintec.co.jp

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジ(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円
にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウェーブ(波)
を組み合わせでデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。

IRメール配信サービス
のお知らせ



当社では新製品情報なども含め、
株主・投資家の皆様へさまざまな
ニュースを幅広くお届けするために
IRメール配信サービスをご提供
しています。配信をご希望の方は、
当社IR情報サイトよりご登録を
お願いいたします。

www.lintec.co.jp/ir



※スマートフォンなどで上記の二次
元コードを読み取ると、登録ページ
へ簡単にアクセスできます。

発行 広報・IR室 2022年3月
TEL. (03) 5248-7741
FAX. (03) 5248-7754



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザ
インの文字を採用しています。